

令和 8 年度 夏休み前の連絡会「見えにくい力が見える成果を生む」

皆さん、おはようございます。校長の川端裕子です。

毎日、本当に暑い日が続いていますが、体調はどうですか。少し疲れがたまっている人もいますよね。それでも、いつも通り登校できた皆さんと一緒に、夏休み前の連絡会を迎えられたことをうれしく思います。

さて、4 月の始業式で、私は皆さんに「選んでほしい3つのこと」を話しました。

1 つめは、「信頼される行動を選ぶこと」。

2 つめは、「一歩先に挑戦する選択をすること」。

3 つめは、「安心できる場をつくる行動を選ぶこと」です。

今日は、1 つめの「信頼される行動を選ぶこと」について、1 学期を振り返ってみましょう。

皆さんは、信頼される行動を選ぶことができましたか。

時間を守る。あいさつをする。約束を守る。提出物を期限までに出す。授業を大切にする。困っている人に声をかける。感情に任せて言葉をぶつけるのではなく、一度立ち止まって考える。ひとつひとつは、目立つ行動ではありません。言い換えると数字では表せない「見えにくい力」です。しかし、その積み重ねが「この人なら大丈夫」「この人なら任せられる」という信頼に繋がっていきます。本当の信頼は、このような毎日の小さな行動の積み重ねから生まれます。信頼は、誰かから与えられるものではありません。自分が日々選んだ行動によって、少しずつ築いていくものです。

テストの点数や成績、資格、表彰状などは、目に見える成果です。しかし、その成果を支えているのは、「目には見えにくい力」です。実は、この「目には見えにくい力」が十分に備わっていなければ、授業の内容を理解する力があっても、学習を続けることができず、実際の成績にはなかなか結び付きません。逆に、今は思うような結果が出ていなくても、生活を整え、授業に向き合い、少しずつ努力を続けることができれば、成果は後からついてきます。

つまり、「見えにくい力」と「見える成果」は、別々のものではなく、「見えにくい力」が「見える成果」を生み出すのです。

「見えにくい力」のは、進学先でも、就職先でも、その先の社会でも、皆さん支えてくれます。

私も先生たちもこの 1 学期、皆さんの「見えにくい力の成長」をたくさん見てきました。

おはようと声に出して挨拶をしてくれた人。毎日学校に来ようと頑張った人。

苦手な授業にも向き合った人。体育祭で仲間を支えた人。係の仕事を最後まで果たした人。

誰かが困っているときに、さりげなく声をかけた人。

その一つ一つが、信頼される自分をつくり、皆さんの未来につながっています。

明日から夏休みです。勉強、部活動、アルバイト、オープンキャンパス、家族との時間など、それぞれの過ごし方があると思います。思いっきり満喫してください。その中で「今、どのような行動を選べば、信頼される自分に近づけるだろう」と、時々考えてみてください。

健康と安全を大切に、9 月には、元気な姿と少し成長した皆さんに会えることを楽しみにしています。

令和 8 年 7 月 17 日 校長 川端裕子